

# 産業建設・総務文教合同常任委員会 現地調査報告

期 日：令和8年5月21日(水) 午後1時30分～午後2時30分

調査内容：令和8年5月13日の降ひょうに伴う農作物被害状況の調査

調 査 先：国見町内（徳江地区、塚野目地区）

出 席 者：産業建設常任委員4名

（渡辺勝弘委員長、佐藤多真恵副委員長、山崎健吉委員、  
松浦常雄委員）

総務文教常任委員5名 ※オブザーバー参加

（佐藤孝委員長、小林聖治委員、佐藤定男委員、蒲倉孝委員  
斎藤樹委員）

議会事務局局長 榎 英則、議会事務局局長補佐 石澤 廣

説 明 者：産業振興課長 大勝宏二

産業振興課産業振興係長 吾妻健一

## 国見町議会

渡 辺 勝 弘 委員長・・・・・・・・・・ 1

佐 藤 多真恵 副委員長・・・・・・・・ 2

山 崎 健 吉 議員・・・・・・・・・・ 4

松 浦 常 雄 議員・・・・・・・・・・ 5

※総務文教常任委員 5 名はオブザーバー参加のため、  
報告書の提出は求めないこととした。

# 令和8年第1回産業建設・総務文教合同常任委員会

## 事務調査報告書

令和8年5月26日(水)

国見町議会議長 山崎 健吉 様

国見町議会議員 渡邊 勝弘

日 時 令和8年5月21日(木) 午後1時30分～2時30分

**調査事項** 産業振興課所管事務調査  
(1) 降雹被害調査について  
(2) 意見交換

**説明者** 大勝宏二 産業振興課長  
吾妻健一 農林振興係係長

### 調査内容

5月13日の降雹により、福島市から、伊達市・桑折町・国見町と、甚大な被害見受けられる、特に、徳江地区・塚野目地区の(もも・プラム)の実・及び葉に降雹した模様。

### 感想

被害拡大は避けられない状況にあると考えられる。今後、各町内からの被害状況を調査して、早急に対策を講じる必要がある。自然災害と同じと考え、農家の皆さんには落胆とあきらめが感じられる。来年の就農意欲が無くならないように、今回の被害補償だけではなく、来年の補償も必要だと考える。

# 令和8年第1回産業建設・総務文教合同常任委員会 所管事務調査報告書

令和 8年 5月 21日

国見町議会議長 山崎 健吉 様

報告者 佐藤 多真恵

## 【調査内容】 産業振興課所管事務調査について

### 降雹被害現地調査

- ① 佐久間秀男様 樹園地：塚野目字北窪 11-1, 11-2  
栽培面積：桃 0.96ha

#### 被害状況

・降雹により桃の実と葉が傷つけられていた。降雹は13日のため、1週間が経ち若葉が出ており、ぱっと見た感じではよくわからないようだった。

近づくと、以前の葉は、ぼろぼろで、実も削れているものがあった。傷が無くても、雹による打撲で、実が大きくなるにつれて、果肉が黒くなったりコルク状になったりするらしい。傷ついた実は落とすが少し様子を見るとのこと。

- ② 八巻 信詞様 樹園地：徳江字上悪戸 101-1  
栽培面積：桃 2.36ha

#### 被害状況

・降雹により桃の実と葉が傷つけられていた。傷ついた実はある程度落としてあった。従来落とすような実も今回は残してあった。ここも1週間が経ち若葉が出ており、見た感じではよくわからないようだった。

- ③ 菊地 新作様 樹園地住所：徳江字前原 5-1  
栽培面積：柿 0.25ha(借地)

#### 被害状況

・降雹により柿の葉が傷つけられほとんど虫食い状況だった。雹があったせいか、実も少なく少し見られるくらいであった。桃とちがって若葉が出てなく、実が成長できるのか、打撃を受けているのか、わからない感じだった。

## 【感想】

各報道によると、5月13、14日に福島県内で降った雹が農作物に与えた被害額が5.6億円にのぼるとの速報値を県がまとめた。皇室に納める「献上桃」で知られる桑折町など県北でモモの果実が多く傷つき、12.8億円の被害が出た2022年の雹害に次ぐ深刻さになった。内堀雅雄知事は25日の記者会見で「生産者の心が折れず、営農を継続できるよう、技術支援を行う」と述べた。

被害面積は7市町村で136ヘクタール。伊達、桑折、国見の県北3市町で133ヘクタールと集中しており、3市町のモモだけで被害額が5.2億円に達した。県によると、記録の残る1980年以降、果樹では22年に次ぐ雹害の規模になった。白河市や会津の3市町村ではキャベツやアスパラガスが被害を受けた。とあり、これからも、被害規模は大きくなると思われる。

力が抜けてしまう状況だが、今回被害を受けた方々に、また自慢の作物を作っていただけのように、行政も、消費者も、できるところで応援をしてほしいと切に願う。

以 上

## 産業建設・総務文教常任委員会合同視察報告

令和8年5月28日

国見町議会議長 山崎 健吉様

報告者 山崎 健吉

【実施日】令和8年5月21日

【場所】国見町(塚野目地区2か所・徳江地区)

【参加者】産業建設常任委員・総務文教常任委員・説明(産業振興課)

【調査項目】5月13日(水) 降雹被害状況調査

【被害概況】

午後3時頃から10分程度、降雹が福島北部を中心に甚大な被害が発生した。被害樹種は、昨年より1週間程度早い生育で、果実を中心に、もも、柿、リンゴや葉物野菜にも被害が発生した。国見町では約22haの被害面積が想定される。福島市、伊達市、桑折町の各地でも被害状況を調査中とのことである。

当議会は、産業建設・総務文教委員会の合同委員会で、塚野目地区の、もも生産農家と、徳江地区の柿生産農家を現地視察し、状況を関係機関に補償等を含め、陳情活動をしていく。

【感想】

5月17日には、西山衆議院議員、佐々木県会議員も当地のもも農家を視察し、私も同行した。今年度の出荷の影響については、収穫時期になって売り物になるか厳しい状況であり、また葉のダメージが多いことから、来年についても心配であり、今後関係機関と状況を詳細に把握し被害状況を確認していく。

産業建設・総務文教合同常任委員会 雹（ひょう）被害の視察報告書

国見町議会議長 山崎健吉様

令和8年5月29日

産業建設常任委員 松浦常雄

- 1 調査日時 令和8年5月21日（木）13時30分～
- 2 調査場所 ①佐久間秀男氏の桃樹園地（塚野目字北塚11-1）、0.96ha  
②八巻信司氏の桃樹園地（徳江字上悪戸101-1）、2.26ha  
③菊地新作氏の柿樹園地（蓬田氏から借用）
- 3 参加者 （報告書表紙に記載のとおり）

4 被害状況

去る5月13日に県北地区の桑折町、国見町、伊達市に雷雨とともに激しく雹が降り、桃や柿、野菜等に大きな被害をもたらした。

そこで、議会産業建設常任委員会は、大勝産業振興課長の案内で町内3か所の樹園地を視察し、被害状況を調査した。

被害面積や、農作物の被害額については、現在JAふくしま未来と調査中とのことで、6月には、調査の結果がまとまるという。

調査は、町内で雹が最も激しかった森江野の3か所の樹園地で行った。

- ① 佐久間秀男氏の桃樹園地（塚野目字北塚11-1）、0.96ha
- ② 八巻信司氏の桃樹園地（徳江字上悪戸101-1）、2.26ha
- ③ 菊地新作氏の柿樹園地（蓬田氏から借用）

5 調査の結果

- (1) 雹で傷ついた桃の実が大きくなるとその傷も大きくなり、商品にならないため、多くの実を落としてしまったようだ。残っている実も傷ついていた。
- (2) 大変多くの桃の樹の葉が傷ついて裂けていた。樹勢に影響が出ることが懸念される。

- (3) 桃の収穫は相当減収になることが予想される。中には、壊滅的な状態の被害が出ているという。
- (4) 柿は葉が出たばかりで、ずたずたに傷ついていた。  
樹勢に影響が出ることが懸念される。  
収穫にどのような影響が出るのか、今後、花が咲き、実がなった時にどのような被害があるのか確認する必要がある。
- (5) 被害が大きい農家には、今後どのような支援ができるのか、検討が必要である。